**坂田 すま子**さん

**下砥川**

## 縮まった距離

三十七年前、隣町から益城町に嫁ぎ、近いのに遠くに感じる里を眺めては、涙していた。子育ては、町から出て十九年間市内で暮らし、再びこの町へ帰ってきた。

今では便利になり、すっかり近くになった実家。しかし、我が家のすぐ真下に見えている飯野小学校は依然として遠い距離を感じていた。地域の人々とも挨拶を交わすだけで遠い人達に見えていた。嫁いだ時と変らぬ淋しさを今なお引きずっていた。

そんな時、思いもよらぬ声がかかった。小学校で絵本の読み聞かせの依頼だった。縁のなかった校庭に足を踏み入れた瞬間、私を奮い立たせるものがあった。

子供達の輝く瞳に魅了され喜びの声に踊らされ、学校に行く足が軽やかに弾み、私には欠かせない楽しみの一つになった。

最近では、地域の高齢者サロンが始まり、ささやかながらお手伝いに参加させてもらっている。私の両親とほぼ同年代の方々。耳を傾け心を開いていっときの時間を共有している。豊かな人生経験の中から暮らしの知恵を学び、教えられ、ある時は励まされ助けていただき、私の貴重な学習の場となっている。地域の人々が私の師であり、大切な存在となった。

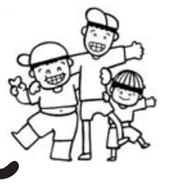
村の中をぶらりと散歩していると、見慣れたはずの景色が新鮮でやさしく映る。気付かなかった風景も見えてくる。全て心地よく穏やかにさせてくれる。

もう、すっかりこの地を愛してしまった。

〽飯野よかとこお嫁においで、あ、どっこいしょ…と口ずさむ私がいる。

**次回は小池秋永の福田（ふくだ）昭博（あきひろ）さんに登場していただきます。**

## 人権は、みんなの権利です



## ～インターネットの長所と短所～

日本のインターネット利用者数は、ここ数年で急激に増加しており、2000（平成12）年から2004（平成16）年までの5年間で、インターネットを利用する人の数は3倍以上になり、世帯普及率も80％近くに達していると言われています。こうした数字から見ても、いまやインターネットは、私たちの生活になくてはならない道具になっていることがわかります。

しかし、こうしたインターネットの便利さも、注意しないとトラブルの原因となることがあります。例えば、インターネットの世界では、すべての情報が正しいとは限りません。間違った情報や、人を傷つけたり、だましたりしようとする悪意のある情報までもが、インターネット上には簡単に掲載されてしまうのです。そして、その情報は一瞬にして大勢の人々に伝わってしまい、取り返しのつかない事態を引き起こすこともあります。インターネットでは、自分の名前や顔を誰にも知られることなく発言することが可能です。そのため「誰が言っているのか分からないのだから」と、他人の人権を無視した心ない発言を平気でする人がいたり、詐欺などの犯罪目的で情報が掲載されていたりする場合があります。特に最近は、利用者の増加にともなって、インターネットに関連した人権侵害や犯罪が急激に増加しています。

インターネットを楽しく安全に利用するためにも、こうしたインターネットに潜む危険性を充分に認識し、モラルやルールを守った正しい利用を心がけなければなりません。

（財）人権教育啓発推進センター「インターネットと人権」より

お問い合わせ先　役場健康福祉課　人権対策係　☎２８６－３１１１　内線１３１